

automatica 2025 ファイナルレポート

スマートオートメーション・ロボティクス専門見本市
2025年6月24日～27日

2025年6月27日

革新と世界的牽引力 — 過去最多の来場者

Summary

- 90カ国超から約49,300人が来場
- 6つの展示ホールに1,100台超のロボットを展示
- 来場者・出展者の満足度はいずれも過去最高を更新



Facts & Data

会期	2025年6月24日(火)～27日(金) 9時～17時(最終日16時)
会場	メッセ・ミュンヘン
主催	メッセ・ミュンヘン (Messe München GmbH)
後援	ドイツ機械工業連盟 (VDMA) ロボット・オートメーション工業会
規模	66,000 m ² (2023年度 66,000 m ²)
出展企業数	40カ国から800社 (2023年度 648社)
来場者数	90カ国から49,300人 (2023年度 92カ国から 41,169人)
主な出展品	組立・操作技術、ロボット、マシンビジョン、ポジショニングシステム、駆動技術、センサー技術、制御システム技術、安全技術、サプライ技術、ソフトウェア、サービス、研究・技術開発等
併催プログラム	Hightech Summit, AI.Society, Robothon®, MedtecSUMMIT, automatica Forum, Vision Expert Huddles, Investor Summit ほか
同時開催メッセ	LASER World of PHOTONICS 2025 (www.world-of-photonics.com/en/) World of Quantum (www.world-of-quantum.com/en/)
出展日本企業 (現法出展など含む)	オムロン(株)、川崎重工業(株)、(株)クリエイティブテクノロジー、(株)キーエンス、興和(株)、CKD(株)、芝浦機械(株)、住友重機械工業(株)、セイコーエプソン(株)、XELA Robotics(株)、ソニー(株)、(株)デンソーウェーブ、THK(株)、ナブテスコ(株)、日本トムソン(株)、ナブテスコ(株)、ニデック(株)、ファナック(株)、(株)不二越、(株)ミツトヨ、(株)安川電機、ヤマハロボティクスホールディングス(株)、(株)レイマック ほか
専用URL	www.automatica-munich.com (英語、ドイツ語)

2025年6月24日から27日まで開催された automatica は、スマートオートメーションとロボティクスを活用した将来の課題解決へのアプローチを鮮明に提示した。

90カ国を超える国々から約49,300人の来場者、40カ国から約800社を数える出展者、そして充実したサポートプログラムによって、automatica の業界におけるリーダーたる地位を改めて印象づけた。



4日間の見本市では、AI搭載ロボティクス、中小企業向けオートメーション、ヘルステックソリューション、モバイルロボティクス、ネットワーク化生産システムといったテーマに重点が置かれた。主催者メッセ・ミュンヘンのCEOラインハルト・ファイファーは、「automatica は今回も業界全体に活力を与えた。この見本市は、厳しい経済状況にもかかわらず、来場者数・出展者数ともに大きく伸びている」と述べた。それを受けて、バイエルン州の経済大臣 Hubert Aiwanger 氏は、automatica と併設見本市の LASER World of PHOTONICS と World of QUANTUM とを視察した際に、「来

場者数も出展者数も大きく伸びたということは、この見本市が業界にとって必須のものであることを裏付けている。そして、ロボティクスとオートメーションは、我々の生産プロセスに革命をもたらすものだ。特に AI の統合は、様々な新たな可能性を切り開くに違いない」と述べ、ここに紹介されている数々の将来技術の重要性を強調した。

エキシビション・ディレクターのアンヤ・シュナイダーも、「automatica は、800社に上る出展者と1,120台ものロボットによって、バリューチェーン全体を網羅する圧巻の集客イベントとなった。また、人材交流の場としての色合いが顕著であったことも、特に印象深かった」と、喜びを語った。

VDMA (ドイツ機械工業連盟) ロボティクス・オートメーション部門のマネージング・ディレクター Patrick Schwarzkopf 氏も、この見本市は大成功だったと実感し、「automatica 2025 は、ロボティクスとオートメーションが競争力強化の鍵であることを明示した。この見本市は、実用的な AI ソリューション、中小企業向けオートメーション、そしてネットワーク化された生産を通して、世界的リーダーとしての地位を見事に裏付けた。automatica は世界の最新技術と自動化の未来が最初に披露される場である」と述べている。

出展者は豊富な着想と示唆に満ちた内容に満足

あらゆる分野の出展者が、automatica 2025 に対して肯定的に評価している。

国際ロボット連盟 (IFR) 会長でファナック株式会社技監の伊藤 隆行氏は、「automatica は、ファナックだけでなく、ヨーロッパのロボット産業全体にとって最も重要なイベントのひとつであり、世界のテクノロジーリーダーとユーザーを結びつけ、アイデアを交換し、イノベーションを探求し、オートメーションの未来を推進する場と考えている。私は、IFR の会長として、この国際的な対話のプラットフォームを非常に高く評価したい」と語っている。

KUKA 社ロボティクス部門の CEO Reinhold Groß 氏も、「今年は、まだオートメーションの導入に踏み切っていない企業からの関心が非常に高かった。その意味でも、automatica 2025 は、『オートメーションをもっと身近に』という理念を、単なる使いやすさの提供という概念を超えて、私たちが実際に体現できるという最適な舞台であった」と、前向きに結論付けている。



出展者から過去最高の評価

Gelszus 社による調査では、出展者の 94%が見本市を「非常に良い～良い」と評価している。特に、来場者の質の高さ(88%)と新規顧客獲得数の増加(87%)を、高く評価している。

これを受けて、HAHN Automation 社の会長兼 CEO の Frank Konrad 氏は、4 日間にわたる見本市に大変満足して、「automatica2025 は、スマートオートメーションとロボティクスが業界の発展を導く重要手段であることを、改めて示す機会となった。機敏性、新技術への開かれた姿勢、そして建設的な地域経済政策は、ヨーロッパがオートメーション大国としての地位を確保する上で、極めて重要な要素である。私たちはミュンヘンで大きな刺激を受け、この 1 週間を通して確信を深めた。その確信は、我々の未来はオートメーションに掛かっており、その未来を業界関係の皆さんとともに形づくる準備が既にここに整っていることを目の当たりにしたことから得たものだ」と述べている。



成功を収めた見本市出展

Neura Robotics 社は、automatica 2025 で新世代のヒューマノイドを発表している。同社の創設者で CEO の David Reger 氏は、「この見本市では、当社のビジョンと製品を何万人もの人々に紹介する機会を与えてもらった。その上、展示した 60 体を超える NEURA ロボットに対して、信じられないほどの熱烈な反響と大きな関心が寄せられ、心から感謝している」と述べている。

MVtec Software 社も見本市での成功を振り返っている会社である。マネージング・ディレクターの Olaf Munkelt 氏は、「今年もまた、これからの協業先候補と長年のパートナーの双方と対話を重ね、多くの有意義な議論を交わすことができた。automatica が不可欠な交流プラットフォームへと進化し、当社だけでなくマシンビジョン業界全体にとって、ますます重要な存在となっていくという潮流は、今後も続くであろう」と述べている。

来場者の約 35%がドイツ国外から — 出展者・来場者の双方が高評価

出展者による見本市への高い評価は、来場者数にも表れている。ドイツに次ぐ来場者数上位 10 カ国は、オーストリア、イタリア、スイス、韓国、中国、ポーランド、イギリス、チェコ共和国、アメリカ、フランスである。ドイツ国外からの来場者は約 35%を占めた。出展者の 99%が、見本市を「非常に良い～良い」と評価している。さらに、来場者の 95%がマーケットリーダー企業の参加を高く評価し、それと同数の 95%が、automatica が業界の中で主導的な役割を果たしていると認識しており、見本市全体の雰囲気も「非常に良い～良い」と評価している。

最高のサポートプログラム



automatica 2025 では、14 の企画(ショーケースおよびステージ)、270 本を超える基調講演、10 のガイドツアープログラム、3 つのワークショップが、参加者間のハイレベルな交流と知識共有を促進した。さらには、ヘルステック分野に特に焦点が当てられ、業界各分野から多数の出展があり、2 日間にわたって MedtecSUMMIT が開催された。

「The Manufacturing Millennial」を冠して製造業の新たな魅力を国内外に発信する活動家 Jake Hall 氏は、「automatica への初めての参加は素晴らしい経験となった。業界の未来を形

作る、新技術、スタートアップ、そして教育を目の当たりにしながら、製品のイノベーションを深く掘り下げることができた」と語っている。そして、彼は、ほかの多くの来場者と同様、充実したサポートプログラムに積極的に参加していた。

また、munich_i Hightech Summit では、ロボット工学と AI のメガトレンドがテーマであった。このイベントは、ミュンヘン工科大学(TUM)のミュンヘン・ロボティクス・マシンインテリジェンス研究所(MIRMI)が今年も企画し、Google DeepMind 社、Microsoft 社、NVIDIA 社といった企業からトップレベルの講演者が登壇した。

次回の automatica は 2027 年 6 月 22 日から 25 日までまで、LASER World of PHOTONICS 及び World of QUANTUM と並行して開催される。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ www.automatica-munich.com で入手できる

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)